

定期報告（ウルグアイ内政・外交：2016年6月）

【内政】

1 与野党合同治安対策会合の開催

バスケス大統領は、治安対策について議論するため与野党合同での対策会合を実施し、薬物関連犯罪の厳罰化について全政党が合意した。

2 政府と全国労働総同盟（PIT-CNT）の対立

PIT-CNTは、インフレが続く中、政府が労働省の定める給与基準を緩和しないことからストの実施を検討している旨発表。その後行われた政府との会合では合意に至らず。政府の方針を超えた水準で企業－労働者間で複数の合意がされたものの、PIT-CNTは29日に部分的なゼネストを決行した。

【外交】

1 ベネズエラ情勢に関する政府及び与党の動き

- (1) 1日、ニン・ノボア外相は亜・智・コロンビア外相と連名で、ベネズエラにおける対話の促進と国民投票の実施を支持する共同声明を発出した。
- (2) 11日、ニン・ノボア外相は亜・智・伯外相と連名で、ベネズエラで発生した議員・市民への襲撃を非難する共同声明を発出した。
- (3) 同日、ニン・ノボア外相は亜・智外相と連名で、大統領罷免国民投票に向けた全国選挙評議会の動きを評価する共同声明を発出した。
- (4) 18日、昨年11月にムヒカ前大統領がアルマグロOAS事務総長（ムヒカ前政権時の外相）に送ったとされる書簡の全文が公表され、両氏が決別していることが明らかとなった。22日、ムヒカ前大統領が率いる与党最大派閥MPPは、同前大統領の立場を支持し、同事務総長が実質的に同派から脱退したものとすることを宣言した。
- (5) 23日、バスケス大統領は米州民主憲章の発動について、「条件を満たしていない」とし、「我々はアルマグロOAS事務総長の行動に賛同していない」と述べた。

2 アフリカにおける新公館の開設

ウルグアイが新たにエチオピアに大使館を開設することが発表された。

3 汚職、麻薬関連犯罪に向けたメルコスール諸国間及び国際機関との協力

1日、メルコスールとOECDの間で財政措置及び税政策に関する情報交換について合意した。また、3日、メルコスール諸国間での麻薬・汚職関連情報の共有が合意された。

4 ニン・ノボア外相の訪中

6日～9日、ニン・ノボア外相は中国を訪問し、王毅外交部長、傅瑩中国全人代外事主任委員、志樹平国家質量監督検疫総局長、姜増偉中国国際貿易促進委員長、楊潔チ国務委員と会談を行った。同訪問は、本年第3四半期に調整されているバスケス大統領訪中を視野に入れたもの。

5 ニン・ノボア外相のドミニカ共和国訪問及びOAS総会出席

12日～14日、ニン・ノボア外相は第46回OAS総会出席のためドミニカ共和国を訪問し、アンドレス・ナバロ・ガルシア・ドミニカ共和国外相と会談を行った。

【治安・社会】

1 墨麻薬カルテル・トップの米への引渡し要請

16日、在ウルグアイ米国大使館は、4月にウルグアイで逮捕された墨麻薬カルテル“Los Guinis”のリーダー、ヘラルド・ゴンサレス・バレンシアの引渡しを要請した。同人は90年代にカリフォルニア州での犯罪及び米国領土内でのコカイン、アンフェタミン取引に関与したとされている。

2 元グアンタナモ収容者の失踪

各紙は、ウルグアイが2014年12月に難民として受け入れた元グアンタナモ収容者6名のうち1名（ジェハド・アフマド・ディヤブ）が、伯との国境で目撃されて以降行方不明となっている旨報じた。同人はウルグアイから出国することを禁止されていないが、在ウルグアイ米国大使館はこの状況を懸念し、ボノミ内相とフレデン在ウルグアイ米臨代の会談が

行われた。

3 モンテビデオにおける大規模駐車場の建設

モンテビデオ県庁は、近年の路上駐車台数の大幅な増加を受け、交通環境尾改善のため大規模駐車場建設計画を発表した。

【要人往来】

○往訪

- ・ 5月30日～6月1日、カンセラ外務次官訪中
- ・ 6～9日、ニン・ノボア外相訪中
- ・ 12～14日、ニン・ノボア外相ドミニカ共和国訪問（OAS総会出席）
- ・ 13～18日、センディック副大統領訪露

○来訪

- ・ 25～27日、ボコバ・ユネスコ事務局長
- ・ 27日、マルコーラ亜外相

(了)